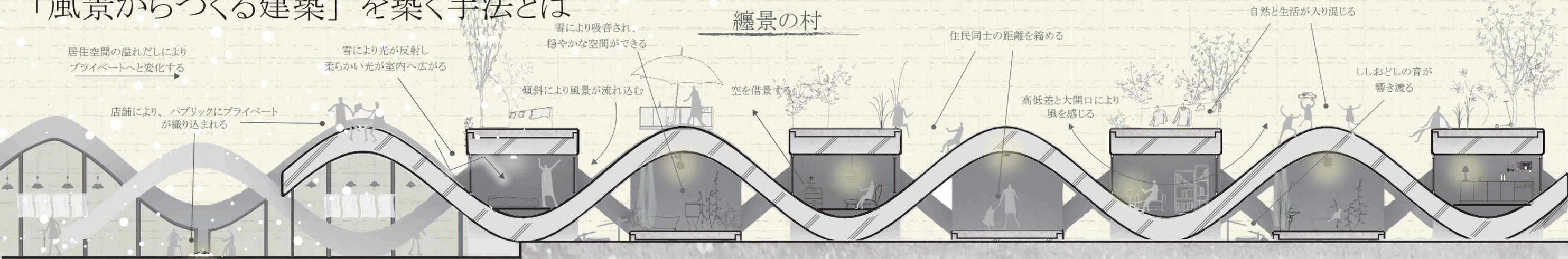


「風景からつくる建築」を築く手法とは



類義語

対義語

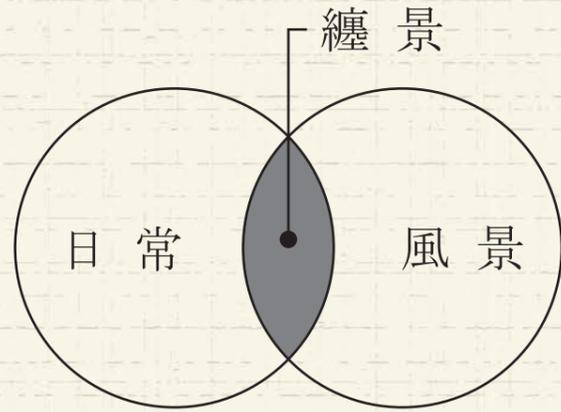
【借景】

意味 - 周囲の景色を敷地内に取り込み、庭や敷地のデザインを行う手法。建物内からの見え方のデザイン。

【バナキムラー建築】

意味 - 地域の材料で、伝統を反映したデザイン。建築家により計画されているわけではなく、その地の職人により生まれた機能的な建築。

纏景との違い



意味 - 自然の中に美しさを見出し、風景を日常に織り込む手法。視覚情報だけでなく、音や光、空気、時間の流れなどの要素を意図的に生活に取り込む日本独自の計画手法。

纏景

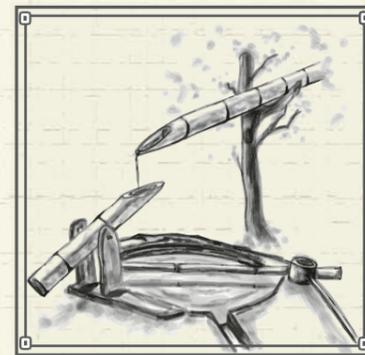
- 事例
- 風鈴 - 枯山水
 - 障子 - 寝殿造
 - 借景 - 茅葺き

風景を建築に

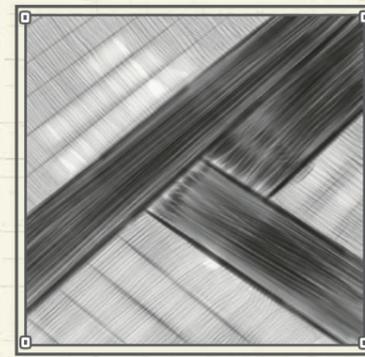
00, 敷地



新潟県十日町市 - 稲作や織物の生産が盛んな十日町では、人々は自然と共生しながら暮らしている

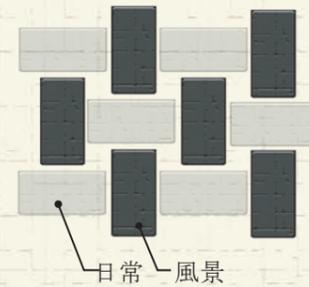


- ししおどしの音と水 -



- 雪の香り -

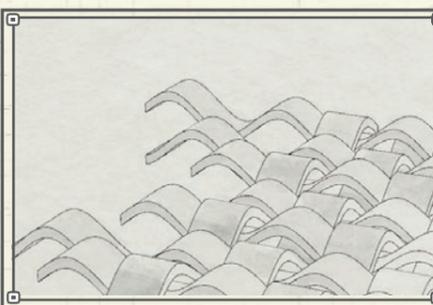
01, 纏景計画



日常と風景の糸により形成される本設計では、それらが織り込まれる事で、2つの距離は縮まり、纏景される

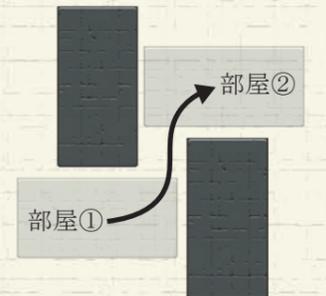


- 障子のあかり -



- 纏景の村 -

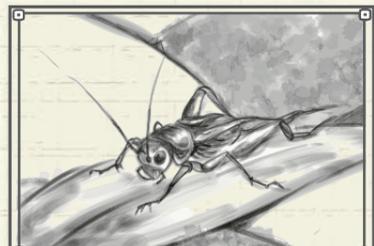
02, 動線計画



部屋を移動するためには屋外へ出る必要があり、五感で体感することになる



- 風鈴の音と風 -



- コオロギの音 -